

令和5年9月市議会定例会  
上下水道事業管理者認定議案説明

認定第1号 令和4年度長野市各公営企業会計決算の認定についてのうち、私から、長野市水道事業会計及び長野市下水道事業会計の決算につきまして御説明申し上げます。

初めに、長野市水道事業会計決算の概要について申し上げます。

58ページから59ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入につきましては、予算額74億8,510万円に対しまして、決算額は74億4,527万2,009円となりました。

また、支出につきましては、予算額65億3,650万3,000円に対しまして、決算額は58億2,608万1,522円となりました。

この結果、63ページの令和4年度長野市水道事業損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、12億2,202万3,336円の純利益が生じたところであります。

なお、その他未処分利益剰余金変動額8億9,251万7,523円につきましては、減債積立金の取崩し額を未処分利益剰余金として計上したもので、当年度未処分利益剰余金は21億1,454万859円となりました。

60ページから61ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、予算額26億888万7,000円に対しまして、決算額は19億1,290万9,201円となりました。

また、支出につきましては、予算額80億232万9,932円に対しまして、決算額

は63億4,104万5,355円となりました。

この結果、44億2,813万6,154円の収支不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、減債積立金8億9,251万7,523円、過年度分損益勘定留保資金31億4,254万5,890円、並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3億9,307万2,741円で補填いたしました。

次に、長野市下水道事業会計決算の概要について申し上げます。

117ページから118ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入につきましては、予算額148億6,250万円に対しまして、決算額は145億5,093万8,692円となりました。

また、支出につきましては、予算額132億6,666万5,000円に対しまして、決算額は122億1,929万9,793円となりました。

この結果、122ページの令和4年度長野市下水道事業損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、21億5,819万1,502円の純利益が生じたところであります。

なお、その他未処分利益剰余金変動額26億7,616万5,846円につきましては、減債積立金の取崩し額を未処分利益剰余金として計上したもので、当年度未処分利益剰余金は48億3,435万7,348円となりました。

119ページから120ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、予算額69億746万3,500円に対しまして、決算額は43億239万1,824円となりました。

また、支出につきましては、予算額134億2,594万6,874円に対しまして、決算額は105億3,854万6,777円となりました。

この結果、62億3,615万4,953円の収支不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、減債積立金 26 億 7,616 万 5,846 円、過年度分損益勘定留保資金 24 億 3,402 万 9,890 円、当年度分損益勘定留保資金 9 億 5,251 万 1,820 円、並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1 億 7,344 万 7,397 円で補填いたしました。

以上、令和 4 年度長野市水道事業会計、長野市下水道事業会計の決算の概要について御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算報告書のほか、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書（案）、貸借対照表、事業報告書及び財務諸表附属明細書を御参照いただきたいと存じます。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。